

カワラハンミョウ

Chaetodera laetescripta

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

体長14～17mm。上翅の斑紋は外縁にそって癒合するが、内紋はよく発達する型から消失する型まで変異が多い。体下面は紫銅色の光沢をもつ。上唇は前方へよく張り出し、中央に1歯をそなえる。頭楯両側には明瞭な剛毛がある。海岸や河原の砂丘に生息する。成虫は7月頃から出現し、9月頃まで見られる。小昆虫などを捕食する。



写真提供：森正人

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

西宮市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			○



特記事項

前回のRDB(2003年)改訂以降の記録や情報がなく、生息に適した環境もない。

保護上の留意点